法:室温保存 有効期間:3年

日本標準商品分類番号	
872649	

	ローション	スプレー	
承認番号	22500AMX00598000	23000AMX00194000	
販売開始	2007年6月	2018年6月	

## 経皮吸収型鎮痛消炎剤

フェルビナクローション・外用ポンプスプレー

# フェルビナクローション3%「ラクール」 フェルビナク外用ポンプスプレー3%「ラクール」

# FELBINAC LOTION 3% RAKOOL FELBINAC PUMP SPRAY 3% [RAKOOL]

#### 2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

- 2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2.2 アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息 発作の誘発)又はその既往歴のある患者[喘息発作を誘発 するおそれがある] [9.1.1参照]

### 3. 組成·性状

#### 3.1 組成

販売名	フェルビナクローション3%「ラクール」 フェルビナク外用ポンプスプレー 3%「ラクール」
有効成分	1mL中 日局フェルビナク30mg
添加剤	グリセリン、トリエタノールアミン、エタノール、 その他1成分

#### 3.2 製剤の性状

販売名	フェルビナクローション3%「ラクール」 フェルビナク外用ポンプスプレー 3%「ラクール」
性状	わずかに粘性を有する無色澄明~ごくわずかに 白濁した液で、わずかに特異なにおいを有する。
識別コード	ローション: 703 スプレー: 804

## 4. 効能又は効果

下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎

変形性関節症、筋・筋膜性腰痛症、肩関節周囲炎、腱・腱 鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎 (テニス肘等)、筋肉痛、外 傷後の腫脹・疼痛

# 6. 用法及び用量

〈ローション〉

症状により、適量を1日数回患部に塗布する。

〈スプレー〉

症状により、適量を1日数回患部に噴霧する。

# 8. 重要な基本的注意

- 8.1 消炎鎮痛剤による治療は原因療法ではなく対症療法であるこ とに留意すること。
- 8.2 慢性疾患(変形性関節症等)に対し本剤を用いる場合には薬 物療法以外の療法も考慮すること。
- 9. 特定の背景を有する患者に関する注意
- 9.1 合併症・既往歴等のある患者
- 9.1.1 気管支喘息のある患者(アスピリン喘息又はその既往歴の ある患者を除く)

喘息発作を誘発するおそれがある。 [2.2参照]

#### 9.1.2 皮膚感染症のある患者

感染を伴う炎症に対して用いる場合には適切な抗菌剤又は抗 真菌剤を併用し、観察を十分行い慎重に使用すること。皮膚 の感染症を不顕性化するおそれがある。

#### \* \* 9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対しては治療上の 有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用するこ

と。シクロオキシゲナーゼ阻害剤(経口剤、坐剤)を妊婦に 使用し、胎児の腎機能障害及び尿量減少、それに伴う羊水過 少症が起きたとの報告がある。シクロオキシゲナーゼ阻害剤 を妊娠中期以降の妊婦に使用し、胎児の動脈管収縮が起きた との報告がある。

#### 9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

#### 11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、 異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を 行うこと。

#### 11.1 重大な副作用

11.1.1 ショック、アナフィラキシー(いずれも頻度不明)

ショック、アナフィラキシー(蕁麻疹、血管浮腫、呼吸困難等) があらわれることがある。

#### 11.2 その他の副作用

		0.1 ~ 1%未満			0.1%未満		
皮	膚	そう痒、	皮膚炎、	発赤	接触皮膚炎、	刺激感、	水疱

# 14. 適用上の注意

## 14.1 薬剤使用時の注意

#### 〈製剤共通〉

- 14.1.1 表皮が欠損している場合に使用すると一時的にしみる、 ヒリヒリ感を起こすことがあるので使用に際し注意すること。
- **14.1.2** 眼及び粘膜に使用しないこと。
- 14.1.3 密封包帯法で使用しないこと。

#### 〈スプレー〉

- 14.1.4 点鼻用として鼻腔内に使用しないこと。
- 14.1.5 顔の近く(肩、頸部等)の吸入する可能性のある部位で は注意して使用すること。

## 18. 薬効薬理

#### 18.1 作用機序

疼痛、急性炎症・慢性炎症に対し、鎮痛・抗炎症作用を示す。

# 18.1.1 プロスタグランジン生合成抑制作用

フェルビナクは、モルモット肺より抽出したプロスタグラン ジン合成酵素のシクロオキシゲナーゼに対し、阻害作用が認 められた(IC50=0.61  $\mu\,g/mL)$   $^{1)}{}_{\circ}$ 

## 18.1.2 抗プロスタグランジン作用

フェルビナクは、プロスタグランジンEiによるスナネズミ結 腸の収縮に対し、抑制作用を示した1)。

# 19. 有効成分に関する理化学的知見

-般的名称:フェルビナク(Felbinac)〔JAN〕

化学名:Biphenyl-4-ylacetic acid

分子式: C<sub>14</sub>H<sub>12</sub>O<sub>2</sub> 分子量:212.24

性 状:白色~微黄白色の結晶又は結晶性の粉末である。

メタノール又はアセトンにやや溶けやすく、エタノー

ル(95)にやや溶けにくく、水にほとんど溶けない。

## 化学構造式:

融 点:163~166℃

#### 20. 取扱い上の注意

火気を避けて保存すること。

## 22. 包装

〈フェルビナクローション3%「ラクール」〉 \* 100mL [1ボトル] ×10 〈フェルビナク外用ポンプスプレー 3%「ラクール」〉 100mL [1ボトル] ×6

## 23. 主要文献

1) Tolman E.L.,et al.: Prostaglandins. 1975; 9 (3): 349-

## 24. 文献請求先及び問い合わせ先

ラクール薬品販売株式会社 DI室 〒123-0864 東京都足立区鹿浜1-9-14 TEL: 03-3899-8881 FAX: 03-3853-9641

# 26. 製造販売業者等

# 26.1 製造販売元



東光薬品工業株式会社 東京都足立区新田2丁目16番23号

# 26.2 発売元



ラクール薬品販売株式会社 東京都足立区鹿浜1丁目9番14号